

じしんが おきても あわてない

題材のねらい

3つの大震災の発生時刻から、地震はいつ起こるかわからないことを知らせ、自分の身を守るための適切な行動ができるようにする。

教科等との関連

生活 2 (1)

学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子やその安全を守っている人々などに関心を持ち、安全な登下校ができるようにする。

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入	過去に起こった震災を知る。	・イラストから、人の様子、バスや車、ビルの様子について発表させ、地震によってもたらされる危険について理解させる。
展開	地震が起こった時の町の様子を考える。	・過去に日本で発生した3つの大震災(写真)から地震によって起こる被害について理解させる。 ・普段のいろんな生活場面で、地震が起こった時のことを想像させ、地震はいつ起こるかわからないことを理解させる。
まとめ	地震が起きてもあわてず行動することの大切さを知る。	・地震が起きてもあわてないことが大切であることを知らせるとともに、「机の下に入って頭を守ること」や「登下校中は建物やブロック塀から離れること」など、身を守る基本についても知らせる。 ・地震に対する恐怖感が高まっている児童には、適切に行動すれば命を守れることを伝え、の不安を取り除くよう配慮する。

災害について知る

じしんが おきても あわてない

じしんは、あさ、ひる、よるの いつ おこるか わかりません。じしんを しり、じしんが おきても あわてない ことが たいせつです。



まだ みんな ねている ころね。

A

阪神・淡路大しんさい
1995 (平成7) 年1月17日
●ごぜん 5時46分



じしんて 火さいが おこったんだね。

B

関東大しんさい
1923 (大正12) 年9月1日
●ごぜん 11時58分



じしんの あとに つなみが きたよ。

C

東日本大しんさい
2011 (平成23) 年3月11日
●ごご 2時46分

よる



生活 1年 6

あさ



6

ひる



7

よる



1年 生活

- A** 阪神・淡路大震災 1995年1月17日 午前5時46分(早朝)
活断層型地震 死者6434人
早朝に発生。家屋内での圧死者が多かった。震災後に発生した火災により、家屋が焼失。
- B** 関東大震災 1923年9月1日 午前11時58分(昼食時)
活断層型地震 約105,000人
昼食時で、当時は直火を利用した調理器具が多く、地震後に発生した火災による、焼死者が多数。
- C** 東日本大震災 2011年3月11日 午後2時46分(昼間)
プレート境界型地震死者15,844人
(2011年1月17日現在)
巨大地震にともない大津波が発生。